



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

七月

第①週

〈森〉





みなさんにお知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
 2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から
印刷やダウンロードができます。



お家の方へ

1. 授業で使う文章を印刷する際、お子さんのお手伝いをお願いします。
 2. ノートは特に規定はありませんが、漢字学習用と国語のノートの2冊を用意してあげてください。
 3. 質問や作文などの添削はメールで随時受け付けています。積極的に送るように、声掛けをお願いします。
- ❖ メールアドレスは、 Akiko@JPNCClass.com です。
 - ❖ 授業で使ったスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から印刷やダウンロードができます。

① 授業で使う文章を印刷してください。



印刷の仕方

1. Webページ <http://JPNCClass.com> へ行きましょう。
2. YouTube授業をクリックしましょう。



JPNClassは、海外に暮らす子どもたちとご家族をサポートする目的で開設されました。子どもたちにオンラインでの国語などの授業を提供します。また、ご家族と海外での日本語教育や子育てについて共に考える講演会やセミナーを開催します。

授業は、オンライン授業（Zoom）、ビデオ（Youtube）を通して提供します。現在お住まいの地域に日本語補習校など日本語を学ぶ学校がない、行く時間がない、あるいは自分のペースで日本語の勉強を進めたいといった子どもたちに最適です。

詳しくは、オンライン授業、YouTube授業、講演会・セミナーのページをご覧ください。



印刷の仕方

3. 小学6年の教科書をクリックしましょう。



トップ [YouTube 授業](#) ▾ オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お知らせ
ご意見・連絡先

日本語で学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

YouTube 授業

小学4年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学5年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



小学6年 国語

[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



中学1年 国語

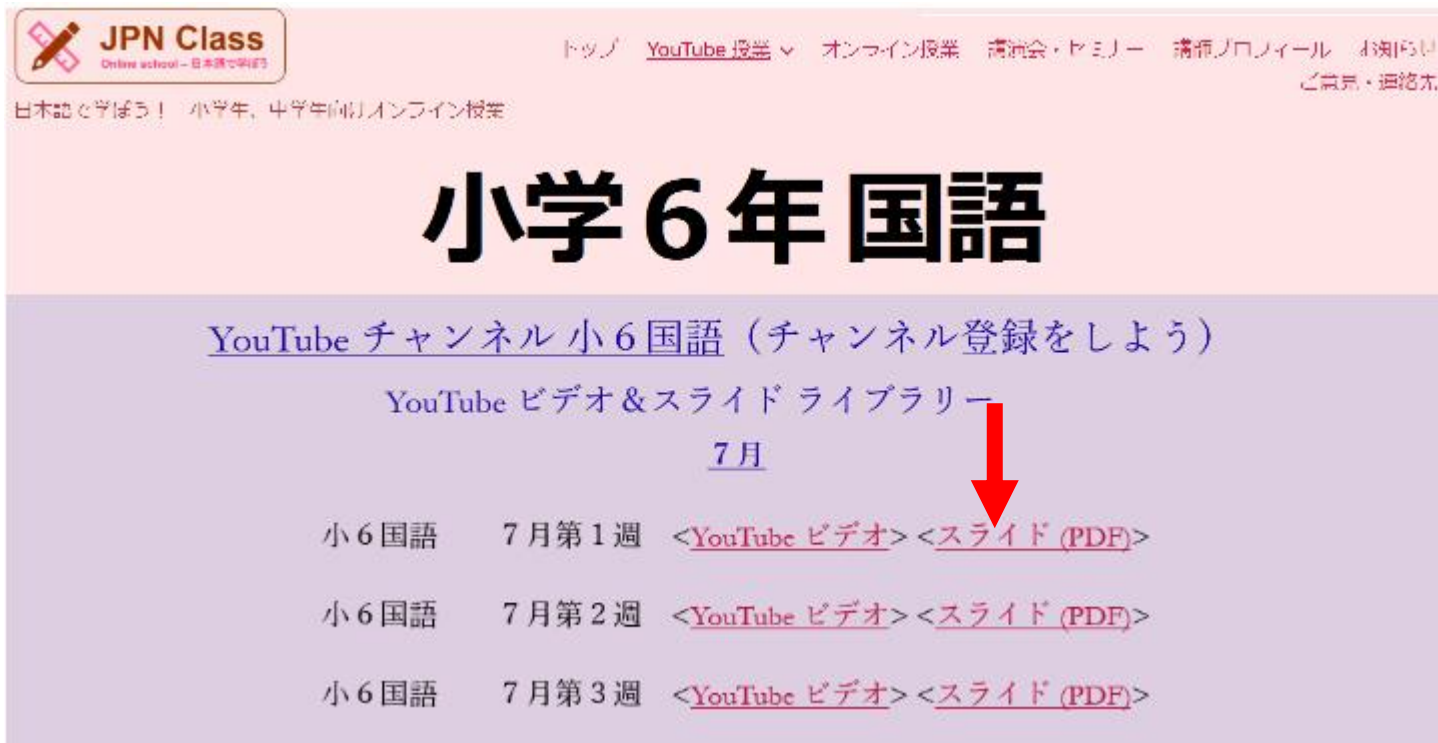
[YouTube チャンネル](#)

[YouTube ビデオ&スライド](#)



印刷の仕方

4. 小6国語 7月第1週 〈スライド (PDF)〉をクリックしましょう。



JPN Class
Online school - 日本語で学ぶ

トップ YouTube 授業 オンライン授業 講演会・セミナー 講師プロフィール お問い合わせ

日本語を学ぼう！ 小学生、中学生向けオンライン授業

小学6年国語

YouTube チャンネル小6国語 (チャンネル登録をしよう)

YouTube ビデオ&スライドライブラリー

7月

小6国語	7月第1週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
小6国語	7月第2週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>
小6国語	7月第3週	<YouTube ビデオ>	<スライド (PDF)>

朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえっていました。聞こえるのは、カヤックのオールが、水を切る音だけです。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼうつと現れては、消えてゆきます。ゆっくりと、きりが動いているのです。オールを止めると、カヤックは、鏡のような水面をしばらくすべり、ミルク色の世界の中で、やがて動かなくなりました。きりの切れ間から、辺りを取り巻く山や森が、ぼんやり見えています。たくさんの島々の間を通り、いつの間にか深い入り江のおくまで来ていたのです。ここは、南アラスカからカナダにかけて広がる、原生林の世界です。

森へ

星野 道夫 文・写真



1

5.  がついているページを印刷しましょう。

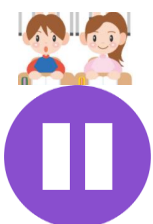
②必ず用意してください

- ・国語のノートと漢字ノート
- ・筆記用具（赤ペン、赤えんぴつも必要）

③気をつけること

- ・大事だと思うところはノートに書いてください。

- ・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示にしたがってください。



- ・必要があるときは、ビデオを止めて、もう一度ビデオを見たりしてください。

先週の宿題



1. 漢字

新しい漢字の練習をしましょう。

2. 音読

「討論会をしよう」を読みましょう。

3. 討論会の進め方

「討論会の進め方」を、 ₁  ₂ を見ながら復習しましょう。また、ノートにまとめた「討論会ノート」の書き方も復習しましょう。

漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

討論会

否定

解決策

除く

筋道

捨てる

専用

座席



漢字テスト①

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

討論会

とうろんかい

否定

ひてい

解決策

かいけつさく

除く

のぞく

筋道

すじみち

捨てる

すてる

専用

せんよう

座席

ざせき



漢字テスト②

漢字をノートに書きましょう。

とうろんかい

ひてい

かいけつさく

のぞく

すじみち

すてる

せんよう

ざせき



漢字テスト②

漢字をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

とうろんかい

討論会

ひてい

否定

かいけつさく

解決策

のぞく

除く

すじみち

筋道

すてる

捨てる

せんよう

専用

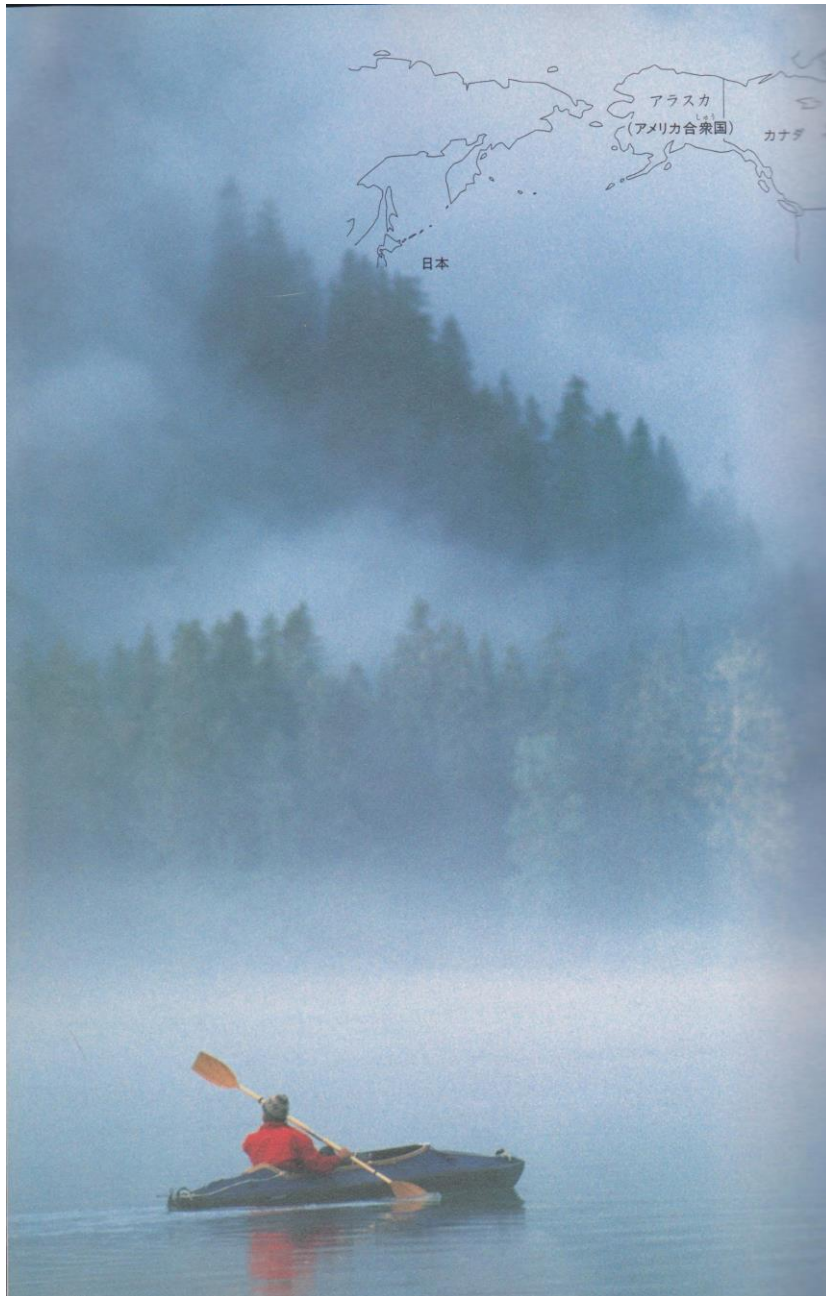
ざせき

座席





朝の海は、深いきりに包まれ、静まりかえってしまいました。聞こえるのは、カヤックのオールが、水を切る音だけです。少し、風が出てきました。白い太陽が、ぼうつと現れては、消えてゆきます。ゆつくりと、きりが動いているのです。オールを止めると、カヤックは、鏡のような水面をしぼらくすべり、ミルク色の世界の中で、やがて動かなくなりました。きりの切れ間から、辺りを取り巻く山や森が、ぼんやり見えています。たくさんの島々の間を通り、いつの間にか深い入り江のおくまで来ていたのです。ここは、南アラスカからカナダにかけて広がる、原生林の世界です。



カヤック…五、六メートルの小ぶね。元は、木や動物の骨で組み立て、アザラシの皮をぬい付けたものであったが、今は化学素材で作られる。原生林…人が手を加えていない、自然なままの林。

じっとしていると、カヤックをこいでいるとき気づかなかった音が、少しずつ聞こえてきました。ピロロロロ……。ハクトウワシの、小鳥のようなさえずりです。が、辺りの森を見わたしても、姿が見えませんが、ポチャン——と、一ぴきのサケが、海面から三十センチほど飛び上がりました。谷間から、川の音かたきの音か、かすかな水の音がわたってきます。きりは、絶えず形を変えながら、森の木々の間を、生き物のように伝わってきます。水面を流れるきりは、ぼくの顔や体を、しつとりとぬらしめました。そのときです、不思議な声がかきりの中から聞こえてきたのは。シューツ、シューツ、シューツ……。ぼくは体をかたくして、だんだん近づいてくるその音を待ちました。とつぜん、きりの中からすうつと巨大な黒いかげが現れ、目の前を潮をふきながら通り過ぎていったのです。ザトウクジラ……。広い海原うなばらにいるはずのクジラが、どうしてこんな所にいるのだろうか。やがて、クジラは尾おびれを高く上げ、ゆっくりときりの中に消えてゆきました。

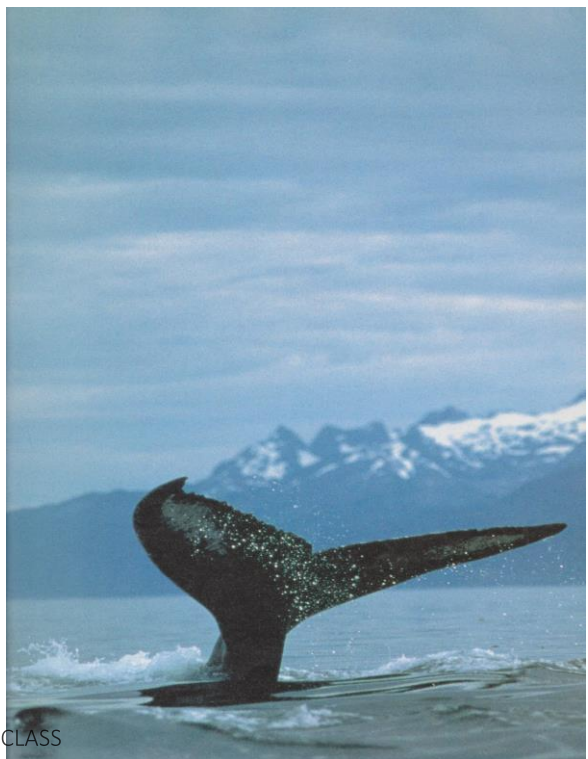
再び、カヤックをこぎ始めました。深い森の木々がおし寄せるはまべが、しだいに近づいてきました。

バサツ、バサツ……。ふいに、ハクトウワシが森の中

からまい上がり、頭上を飛び去

20

ってゆきました。ぼくがこの森に近づいてくるのを、ハクトウワシはじっと見ていたのです。



ハクトウワシ…頭と尾が白い、大形のワシ。全長九十センチメートル、体重は六キログラムほど。北アメリカの水辺にすみ、サケなどの大きな魚をつかまえて食べる。

ザトウクジラ…全長十五メートルほど。背中が黒く、腹が白い。

《新しい漢字》

すがた
しお
姿
潮





やがて、カヤックが砂はまに乗り上げると、森は、おおいかぶさるようにせまってしまいました。見上げるような巨木や、その間にびっしりとおいしげる樹木が、ぼくがこの森に入ることをごぼんでいるようにでした。

はまべに沿ってしばらく歩くと、だれかが通ったように草のしげみが割れ、そのまま森の中に続いているのに気がつきました。いったいだれが来たのだらう。ここは、人の住む場所と遠くはなれた世界です。

巨木の間をぬけ、森に足をふみ入ると、辺りは、夕暮れのように暗くなりました。目が慣れてくると、森の姿が見え始めました。見わたすかぎりの木々が、いや、地面も岩も倒木も、びっしりと緑のコケにおおわれているのです。さまざまな地衣類が、枝から着物のように垂れ下がった木々は、そのまま歩きだしそうな気配でした。

ぼくが立っている地面は、かすかな道になり、森のおくへと続いています。土の上に残された大きな足あとを見るとき、急に胸がどきどきしてきました。そう、クマの道だったのです。森の中から、今にもクマがやって来そうな気がしました。

周りを見回しながら、しばらく考えました。

気持ちが悪く、少し勇気が出てきました。ぼくはクマの道をたどり、森に入ってくることに決めました。

この森は、はるかな北に広がる氷河まで続いています。ずっと昔、ここは、厚い氷におおわれていました。最後の氷河期が終わり、地表が現れ、気の遠くなるような時間をかけて、森ができあがったのです。木々やコケ、そして岩や倒木までが、たがいからみながら助け合い、森全体が、一つの生き物のように呼吸しているようでした。

地衣類・木の幹や岩の表面にうすく広がって付く植物。



《新しい漢字》

砂はま すな

樹林 ジュ

垂れ下がる た

胸 むね

森の木々が、じつとぼくを見つめているような気がしました。ときどき、気味の悪い大木を見かけました。まるで、足で立っているように根が生え、その間に大きな穴が空いているのです。あれは、いったい何なのだろう。

辺りをゆっくり見わたし、小さな音にも耳をそばだてて歩いていると、だんだん不思議な気持ちになってきました。いつの間にか、まるで、自分がクマの目になって、この森をながめているみたいなのです。心が静まるにつれて、森は、少しずつぼくにやさしくなってくるようでした。

「もしクマが反対からやって来たら、そつと道をゆずってやればいいのだ。」そんなことを考え始めていました。10

ふと気がつくと、道の真ん中に、大きな黒いかたまりが落ちていました。なんだろうと思って近づくと、それはクマの古いふんでした。

おどろいたことに、そのふんの中から、15
白いキノコがたくさんびんでいます。あんまりきれいなので、ぼくは地面に体をふせ、クマのふんにぐつと顔を近づけてみました。いつか北極圏けんのツンドラで見た、古い動物の骨の周りにさく花々を思い出しました。20
厳しい自然では、わずかな栄養分もむだにはならないのです。



ツンドラ…北極海沿岸に広がる土地。寒さのために、一年じゅう地面がこおっている。

《新しい漢字》

穴 あな

骨 ほね

厳しい きびしい

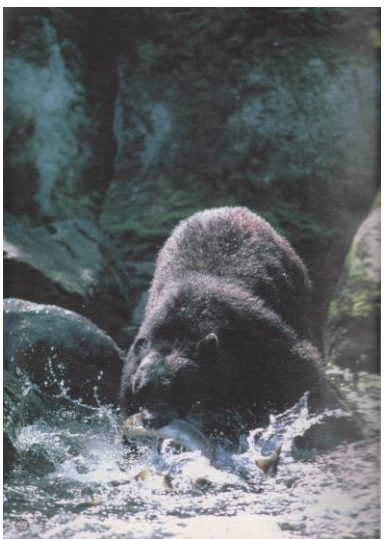


クマの道は、しだいに分かれ道が多くなり、いつの間にか、森の中に消えていくようでした。ときどき、高いやぶをかき分けて進まなくてはなりません。そんなとき、倒木は、森にかかる橋のように歩きやすい道となりました。倒木の道には、ところどころに、アカリスがトウヒの実を食べたからが積まれています。動物たちも、この自然の道を利用しているのです。今度は、森のリスになったような気分で、倒木の上を歩きました。

水の音が聞こえてきました。しばらくすると、視界が開け、森の中を流れる川に出ました。岸に立つと、水の流れは、川底の岩の色なのか、黒くしずんで見えませんでした。

水を飲もうと水面に顔を近づけ、びっくりしてしまいました。川底の色だと思っただのは、産卵のために川を上るサケの大群だったのです。ぼくは、はだしになって川に入りました。静かに手を手の中に入れ、や

15



と強い力をもっているのでしょうか。ばねのように身を大きく曲げながら、はじけるように、ぼくの手から飛びぬけてゆくのです。もうおもしろくてたまりません。ぼくは、ずぶぬれになりながら、何度も同じことをくり返しました。

20



25

ふっと前を見ると、対岸の岩の上から、クマの親子が、じっとぼくを見ているではないですか。ぼくは、あわてて岸を駆け上がりました。すると、なんてことでしょう。川の上流にも下流にも、いつの間にか、クマがあちこちにいます。いま、この森の川は、サケを食べに来るクマの世界でした。見上げれば、子グマが木の上でねています。どうして今まで気がつかなかったのだろう。アカリス・カナダやアメリカの林にすむ。キチキチと鳴き、木の実やキノコを好む。

トウヒ…山に生える松の一種。幹は赤褐色で、ひび割れている。

クロクマ…ここでは、アメリカグマのこと。かたまでの高さ一メートル。体重百三十キログラムほど。



すでに一生を終えたサケが、たくさん流れていきます。

「サケが森を作る。」

アラスカの森に生きる人たちの古いことわざです。産卵を終えて死んだ無数のサケが、上流から下流へと流されながら、森の自然に栄養をあたえてゆくからなのです。

ぼくは、川をそつとはなれ、再び森の中に入ってゆきました。

不思議な光景に出会いました。地面に横たわる古い倒木の上から、巨木が一列に並んでのびているのです。それは、きつとこんな物語があつたのでしょうか。

昔、一本のトウヒの木が年老いてたおれました。その木は死んでしまいました。その根は、まだ、たくさん栄養をもっていました。長い年月の間に、その幹の上に落ちた幸運なトウヒの種子たちがいました。そこに根を下ろした種子たちは、倒木の栄養をもらいながら、さらに気の遠くなるような時間の中で、ゆつくりと大木に生長していったのです。つまり、年老いて死んでしまった、倒木が新しい木々を育てたのです。それでやっと分かりました。森の中でときどき見かけた、根が足のように生えた不思議な姿の木のことです。その根の間に空いていた穴、それは、栄養をあたえつくして消えた倒木のあとだったのでした。

目の前の倒木は、たくさんのおおきい木の根にからまれ、今なお栄養をあたえ続けています。いつかはすつかり消えてゆくのです。ぼくはこけむした倒木にすわり、そつと幹をなでてみました。

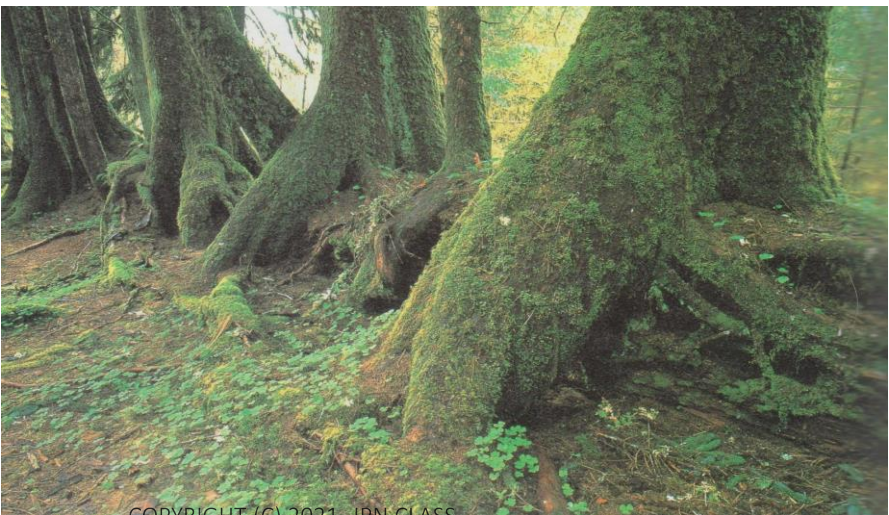
森のこわさは、すつかり消えていきました。じつと見つめ、耳をすませば、森はさまざまな物語を聞かせてくれるようでした。ぼくの目には見えないけれど、森はゆつくりと動いているのでした。

星野道夫

一九五二〜一九九六。千葉県生まれ。

写真家。

「グリズリー」「アラスカたんけん記」などの作品がある。



言葉の意味や使い方を確かめましょう。

① 入り江^え

海や湖が、陸地に入りこんでいるところ。

② 絶えず
いつも。ひっきりなしに。

*例文を書きましよう。

この建物は、管理人が絶えず見回りに来る。

③ おいしいげる

良く育って。たくさん生えている。

④ こばむ
じやまをする。防ぎ止める。ことわる。

*例文を書きましよう。

大きな川が、我々の前進をこばむ。

⑤ 倒木^{とうぼく}

たおれた木。

⑥ 気配
なんとなく感じられる様子。

*正しい使い方に○を付けましよう。

ア 暗やみに、だれかがいる気配がした。

イ お客さまに失礼がないように気配した。

⑦ 氷河



高い山や北極、南極などで、年々降り積もつてとけない雪が氷と
なつて、少しずつ低い方へとゆっくり動いていくもの。

⑧ 耳をそばだてる

注意を集中して聞く。

⑨ 無数

数えきれないほど多いこと。

⑩ (こけ) むす

(コケが) 生える。



筆者がどんな自然に出会ったのか、大まかにつかみましょう。

(1) 筆者がいる場所は、どこですか。

- ア 日本の北海道にある広大な原生林。
- イ 南アラスカからカナダにかけて広がる原生林。
- ウ 巨大なザトウクジラが泳ぐ広い海原うなばら

(2) この文章は、次の五つの場面に分けられます。順番になるように

- () に番号を書きましょう。
- () 筆者がはまべでだれかが通ったようなあとに気づく。
- () 筆者が川に出て、サケの大群に出会う。
- () 筆者が海の上で、カヤックをこいでいる。
- () 筆者がクマの道をたどり森の中に入っていく。
- () 筆者が川をはなれ、再び森の中に入っていくと、古い倒木から、巨木がのびているのを見る。

(3) 筆者は、自然の中でさまざまな動物に出会います。筆者が出会った生き物を から四つ選んで書きましょう。

- () () () ()

- | | | | |
|------|--------|------|----|
| アカリス | ハクトウワシ | サケ | マス |
| イルカ | ザトウクジラ | クロクマ | |



筆者がどんな自然に出会ったのか、大まかにつかみましょう。
《答え付き》

(1) 筆者がいる場所は、どこですか。

ア 日本の北海道にある広大な原生林。

イ 南アラスカからカナダにかけて広がる原生林。

ウ 巨大なザトウクジラが泳ぐ広い海原うなばら

(2) この文章は、次の五つの場面に分けられます。順番になるように

() に番号を書きましょう。

(2) 筆者がはまべでだれかが通ったようなあとに気づく。

(4) 筆者が川に出て、サケの大群に出会う。

(1) 筆者が海の上で、カヤックをこいでいる。

(3) 筆者がクマの道をたどり森の中に入っていく。

(5) 筆者が川をはなれ、再び森の中に入っていくと、古い倒木から、巨木がのびているのを見る。

(3) 筆者は、自然の中でさまざまな動物に出会います。筆者が出会った生き物を [] から四つ選んで書きましょう。

- | | |
|------------|----------|
| (ハクトウワシ) | (サケ) |
| (ザトウクジラ) | (クロクマ) |

- | | | | |
|------|--------|------|----|
| アカリス | ハクトウワシ | サケ | マス |
| イルカ | ザトウクジラ | クロクマ | |



《新しい漢字》

読み方をノートに書きましよう。

姿

潮

砂はま

樹林

垂れ下がる

胸

穴

骨

厳しい



《新しい漢字》

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

姿

すがた

潮

しお

砂はま

すなはま

樹林

じゅりん

垂れ下がる

たれさがる

胸

おね

穴

あな

骨

ほね

厳しい

きびしい



宿題

次回の授業までにやる勉強です。

必ずやりましょう。

1. 漢字

新しい漢字の練習をしましょう。

2. 音読

「森へ」を読みましょう。

3. 言葉の学習

次の文の（ ）に合う言葉を、から選びましょう。

- (1) 朝つゆに、木の葉が（ ）ぬれている。
- (2) 今週は、予定が（ ）つまっている。
- (3) 熱が下がって、もう（ ）元気だ。
- (4) 雲がかかって、月が（ ）見える。
- (5) 悲しみがこみ上げたが、（ ）なみだをこらえた。

ア	びっしり	イ	すっかり	ウ	ぐっと
エ	しっとり	オ	ぼんやり		



JPN Class

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

年間学習表



8月 (夏休み=授業は3回)	7月 (夏休み=授業は3回)	6月	5月	4月		
		<p>討論会のをしよう 討論会の流れと進め 方を学習しよう。</p>			<p>1年間の学習を通し て先生の話を聞き、学 習を進めよう。</p>	話す／聞く
<p>本は友達 自分の好きな本を紹 介しよう。</p>	<p>森へ 「森へ」を読んで、 どんなことを考えた か、テーマを決めて 書こう。</p>	<p>ガイドブックを作る う 読み手に必要な情報、 自分が伝えたいこと をふまえて、文章を 書こう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 文章全体を短くまと めよう。(要約しよ う。)</p>	<p>カレライス 主人公と似た経験に ついて書こう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、記 事に対する自分の意 見を書こう。</p>	書く
<p>船りんご 詩の言葉に現れた筆 者の気持ちを読み取 ろう。</p>	<p>森へ 情景を想像しながら 読んで、森のイメー ジを豊かに伝える効 果的な表現を味わお う。</p>	<p>短歌・俳句の世界 短歌や俳句を読んで、 リズムや言葉の美し さを感じよう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 筆者が文章を通して 一番言いたいことは 何か考えよう。</p>	<p>カレライス 主人公の気持ちを考 え、自分と重ね合わ せて読んでみよう。</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み取 ろう。</p>	読む
<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字そ れぞれの意味と使い 方を知ろう。</p>			<p>暮らしの中の言葉 ことわざや漢字四字 の言葉の、意味や使 い方を理解しよう。</p>	<p>漢字の形と音・意味 漢字の音を表す部分、 意味を表す部分を知 り、漢字の組み立て を理解しよう。</p>	言葉	

1月 (冬休み=授業は3回)	12月 (冬休み=授業は3回)	11月	10月	9月	
今、わたしは、ぼくは 自分の思いが伝わる ような表現を身に付 けよう。	自分の考えを発信し よう 自分の考えをイン ターネットを使って、 友だちに発信しよう。			みんなで生きる町 調べたことや考えた ことを分かりやすく 伝えよう。	話す／聞く
感動を言葉に 見たり感じたりした ことをもとに、心の つぶやきを言葉にし よう。	今、わたしは、ぼく は 構成を工夫して、意 図が明確に伝わる方 法を考えよう。	自分の考えを発信し よう 「平和」に関する資 料を通じて、自分の 考えを書こう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考えにつ いて分かったこと、 思ったことを書こう。	みんなで生きる町 調べたことをもとに、 提案書を作ろう。	書く
	平和のとりでを築く 文の書き方の特徴に 気をつけて、筆者の 考えを読み取ろう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考え方や 生き方を読み取ろう。	やまなし 独特な言葉や表現を 味わおう。情景を想 像しながら読んで、 作品の特徴を考えよ う。	みんなで生きる町 だれもが暮らしやす くするにはどうした らいいか考えよう。	読む
漢字クイズ 小学校で習った漢字 を、正しく理解して いるか確かめよう。	インターネットと学 習 インターネットを学 習に役立てるために、 注意することを確か めよう。	覚えておきたい言葉 教科や社会生活の中 で使われる言葉の意 味を理解しよう。	熟語の成り立ち 漢字二字・三字・四 字以上の熟語につい て理解を深めよう。	日本で使う文字 平仮名と片仮名の由 来を知ろう。ローマ 字とのかかわりを知 ろう。	言葉

	3月	2月	
			話す／聞く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が伝えたいことをまとめ、俺に対する自分の考えを書こう。</p> <p>生きる 「生きる」の形をまねて、詩を創ってみよう。</p>	<p>わたしたちの言葉 いろいろなあいさつについてまとめてみよう。</p>	書く
	<p>今、君たちに伝えたいこと 筆者が経験をとおして子どもたちにつたえたいメッセージを読み取ろう。</p> <p>生きる それぞれの連に注意しながら、作者の考える「生きる」を読み取ろう。</p>	<p>海の命 周りの人々とのかわりの中で成長していく主人公の姿を読み取ろう。登場人物の言動から生き方や考え方を読み取ろう。</p> <p>言葉の橋 詩を味わい、心を伝える言葉の働きについて筆者の考えを読みとろう。</p>	読む
<p>六年生の漢字 六年生で習った漢字の復習をしよう。</p>			言葉



JPN Class

Online school – 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校六年生

七月 第1週

「いいね」

「チャンネル登録」

してください！

また来週。

